

(2) 読み語り「ひまわり」

- 1 日 時 毎月1回（火曜日） 8：30～8：45
- 2 活動場所 各教室
- 3 活動内容 各学年の児童への読み聞かせ
- 4 協力者名

(8名)

5 活動の様子

本校の読み語りは、地域学校共働本部が発足する前から行っている。学校現場で、朝の読書が定着した時には、すでに始まっていたと考えられる。豊田市では、中央図書館や子ども図書室が中心となって、学校の読み語りを支援してきた。多くの学校がこの支援の下、読み語り活動を行っている。

読み語りボランティアの代表は今年度も近藤様が行い、毎月の読み語りの前に、担当者や担当学年を決め、ボランティアの方に連絡していただいている。担当者は、事前に本の選定や読み語りの練習をして、当日の朝、児童に読み語りを行っている。本は、担当学年や季節を考慮して選定している。

年間計画に従い、第1回の読み語りは、4月12日（火）に実施した。この日は地域学校共働本部がボランティアを募集する前であったが、昨年度の読み語りボランティアの方に、率先して行っていただいた。

読み語りの日、ボランティアの方は校長室に集まり、担当学年の代表児童の迎えによって、各教室に出向く。

教室では、自己紹介の後、読む本を取り出し、本の紹介と表紙の絵を見せ、読み語りの雰囲気を高めている。体の横で本を開き、絵がよく見えるようにして読んだり、読み聞かせ



の合間に、何度も子供たちの反応を確かめたりしている。この確かめによって、本の選定や読み方の是非を確認し、読み語りを終えた後、図書館に集まり。一人ずつ本をどのように読んだかを披露し、お互いが感想を伝え合っている。この話し合いは、ボランティアの方にとってとても有意義であり、次への意欲付けになっている。



子供たちは、多くの本と接するだけでなく、ボラン

ティアの方との関わりを通して、心も成長していく。学校では、毎月の「読み語り」や、「図書の貸し出し」利用指導によって、多くの子供たちが楽しめるように成長の糧となるようにと願い、図書館経営に取り組んでいる。中でも読み語りボランティアの方々は、子供たちの読書意欲を高める大きな役割を担っていただいている。今後も毎月一度、読み語りを行っていく予定である。